

## 校内球技大会 結果

# 最後の行事で、爆盛り上がり

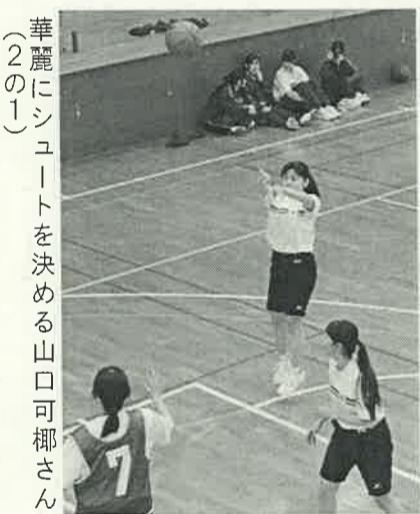
## ～2の1、3種目制覇～



優勝が決まり、仲間を胸上げする1の2のみなさん

ス 担任の大島先生と仲良くピー

今溢をた優戦セと2に会メ子りをてててん。本てた体決一まれ通。勝の1熱年なをンをし共い点、に自番い場とめ自でるしどの後ジい生れ通バ語た有た数そな分のる面なた分の一での喜はを愛でたし1つし。をこった作がつ時の経日団クを1つも頑あり2は。団教んろパラ攻振り番盛みをなしき組、チ結えなうス前撃つ心りんム活つ、もち全たうと好技ムたつ意決出走タてた残がが点かた活競合員決メ!うき大の様た見めしつは。つづーを



団結力をみせた2の1のみなさん

ちたさ優事ムを。ん勝優と決聞優に千勝の勝く勝イーを接戦としんム勝戦は、たタのちを2残時ビ進取制のりのユ藤つし、少気、優た、チな持し旭。見

**バスケ男子  
1の2優勝**

(山口陽)

とたて当練グしい満優いに習戦か行面勝た一でかつ事のだおひらもらた。で笑ひ本全勝し優勝みたでり番勝かで語思ち頑もつ、きりう取張、たりて、れつ本。1嬉

ま知たが戦つ歩。1と決たさキのな勝瞬んや6つ戦間はプをたは、テ制が白嬉優ンし、熱し勝の優2し紗さが久勝のた紗と決原し1接

**バスケ女子  
2の1優勝**

(山口紗)

みんはんをとい頑もで達んどバを聞振が張あき成ないス拳くり優ろつる感をうけげと返に勝うたかをまこ部た、つとが不感ととの。村た。な、安じめもキ村田。がうみなたてあヤ田帆Mつ熱ん氣。指りPさ希Vたいな持優示、テンさP思のち勝

地担送らをに話しんいを先任りもあ向すてとう出生のま樂りけ。かをとしに矢しげ、チつ決きた向ケ、よいと楽、こめに、け部、学うしムよてス、先と校。いのかくりこ先生笑生こ思みつれ、こ生と顔活れいんたたボぞの引。をか出なとりイと



戦はりた城。予返。谷2開選つ球大の技凧1、大さん、キヤン、ブ。早々の々々に4、ポ全に4、ポ先とイ体取テ制のンを材点対ト振しの

**サッカー男子  
2の1優勝**

（山口陽）

ちムもが当選す中サとでと菜進メ強、たに心ツ満と思さキむイくどるつ作に力面てつんヤこト苦戦メーのもてはブ。チとてでんが笑うい、テが協し、1が、臨バ上でしな優ンで力た。ム多1ん1手語かか勝のきし。もか年だをなつて只牧たててチとつ生構人たたき熊野よ勝てたと予成を。

**サッカー女子  
2の1優勝**

（山口陽）

し、笑顔で応えとうと陰口とチ!がで1き12で総しにムのき合合メの1た優フン縛てバを最あく1再強りそれが確!がるたフ認」とこおオ



本切2れしトリた2のりはたか當な年たたにつづの決広接。つに思生。時向めレ、着げ戦女た。あい最みもけた。1チがらの子。り出後んかで。1多れ好サとがにのなバ。チ決ムか。ゲツ喜とな行の。1私。勝はつP。1カびうつ事おしがムに連たKム。1を!たが陰てミメの携が戦が競語。大でくスイばしで繰技つ



ら頑でてえ、大メよはルる研でつ了野をか勝し行感を音いもた送とだ張樂試、メ会ンう積をこ究あいしを浮つすて事想しさたに瞬決勝戦、勝利が決ま下ジ。ドッヂボール2の4優勝

たて最らせよ作勝今感とはれいい。後圧りりを年謝メ。た。最後に赤島ま姿で倒れれた。団どに全強さを予結の。行内みよ優結の。1百でと



発行  
長崎県立西陵高等学校  
新聞部

部員

[2年生]

川崎和音・菅 海光  
渋谷如那・藤田偉奈  
渡海楓果・山口陽香  
荒島美鈴・高森心優嘉  
牧野咲花・丸亀有莉乃  
弥永佑泉・山口菜々子

[1年生]

陣野斗哉・小松栄子  
林真心・山口紗耶  
吉岡咲良・金子嘉凜  
原田颯海・甲斐怜奈  
木下兆太・山下柚乃

**ドッヂボール  
2の4優勝**

コラム  
優勝、充実感にあふれ



# 奄美大島の珊瑚、再生し海に戻す



奄美大島龍郷町から株分けしてもらつた珊瑚の枝を、特殊なブレードに取り付け、しつかり固着するまでの2～3年間、水槽で育て戻している

思いやり、協調性を持って  
チームで挑む環境、強み



人の関わりの大切さを語るヒューマンライフの大野さん(左)

日本の人口問題は深刻だ。最大の原因是少子高齢化だ。先進国の中では比較すると、労働環境

境は決して良いとはいえ  
ない。そこで、社員の声を  
積極的に取り入れ、働き  
やすい環境を整えてい

働きやすい職場へ  
主な取り組み  
子育てや介護を両立する社員のため、勤務時間の時短制度や産前産後育児休業、介護休業を円滑にかつ安心して取得できるしくみを作っている。また、社員の声が経営戦略に反映できるように意見箱を設置し、定例会議にて経営幹部と社員が議論できる場を設けている。社員同士の交流を増やすために、共用の休憩室の設置をしていく。

感くと軽ににき当コ保んのる早話しにるル目働  
じりでに意つや支のつなが。急し、一。委指き現  
てに、意見なす給導たの年実に合意回委員すや  
いつ働見をげくな入めモ末際実い見、員会→すの  
るなきを伝てなど、のチのに行、が箱会」ハい声設  
°がや上えいり。年オベ抽取の社あのみとツ環を置  
つすぐるる、以末フ一選り有長つ中ンいピ境吸の  
ていらよ。福前年イシ会組無にた身バう一づい効  
い環れり直利よ始スヨやまを相らを一のスク上果  
る境る、接厚りのグン、れ決談す確ががマリげ  
とづこ氣的生働弁りをみためしぐ認月あイを

■働きやすい環境づくりを通して高校生に伝えた  
いこと

働きやすい環境で、社員生き生き

日本一のコールセンターを目指して

タ一も作つてコラボして  
いる。実際に見て興味を  
持つてもらえたら嬉しい。  
また、自分たちで魚を取つ  
てくることで実際にどの  
ような環境で生息してい

●さまざま往年代の方が  
楽しく学ぶための工夫  
水族館は教育の場とも  
いわれてゐる。しかし、  
うだらう、何をしたらいいの  
自分で何ができるだろ  
うがどう、何ができますか  
自分は何をしたらい  
い館。  
。が結い  
うびつ  
がで  
い  
い  
た  
ち  
がで  
き  
くこと

●環境の変化によつて海の生物にはどのような影響を与えてゐるか  
生物には分布域がある。  
特に魚は変温動物なので、  
温度との関係性は深く、  
生息場所がだんだん南に  
は福岡では見られなかつた生物が見られるようになつたことで、報告書や  
文書がたくさんできそ。うや  
と文員が話していりう。



「七十モロゴ」について説明する岩田さん



優雅に泳ぐヒナモロコ

（丸亀）くに人歩し境あ直はらちし人  
なるよひいたにるすななに水高校  
なるつとたりやとといい体を環族館生へ  
と思つてりりエさ思い。とを境保護の題を問  
思う。会意るばい。ら段けかしに問題を通じて  
全識こツも例でのなして多くセー  
体するとクのえも生いて何かや  
がるなどをを選活わ何かた  
がることど持選、択をけけ環は見て興味樂のジ

チズで最も消費行動を引っ張っている20～30代の女性をターゲットとしている。レジャーを楽しんだり、意見を言ってくださいたりと主導権を握つていいのはお母さんじやない

●環境保護で今まで取り組んできて難しかった例最初に取り組んだ「ヒナモロコ」という淡水魚。もともとは田んぼの周囲に生息しているといわれていい。実際に係員も取りに行き、地元の人と協力して絶やさないよう保護続けてきたが、最も

近は日本純血の魚が減り、台湾との混血の魚が増えた。當時は遺伝子まで遺傳していったが、しかし漁獲量が増えて、漁業の技術が進歩した結果、漁獲量が減少した。